

密度の高い効果的な教育で、信頼され期待される国際的なエンジニアを育成。

機械工学専攻

Mechanical Engineering

機械工学専攻
についてはこちら



【研究分野】 ●熱工学分野 ●液体工学分野 ●材料力学・機械材料科学分野 ●機械力学・機械要素学・機械工作学分野 ●制御工学・生体工学分野

理念・目的

機械工学専攻博士前期課程

機械工学専攻博士前期課程では、専門性を要する職業等に必要な能力と基本的な問題解決能力を身につけ、社会人としての素養と倫理観を兼ね備えた信頼されるエンジニアを養成する。

機械工学専攻博士後期課程

機械工学専攻博士後期課程では、高度な専門性を要する職業等に必要な能力と自立して問題を解決する能力を身につけ、科学技術の急速な進歩にも柔軟に対応できる国際的にトップレベルのエンジニア及び研究者を養成する。

教育目標

機械工学専攻博士前期課程

機械工学専攻博士前期課程で行う教育は、次に示す事項を達成することを目標とする。

1. 機械工学分野に関連した幅広い基礎的知識を有し、それを活用して諸問題を解決できる能力を身につけた上で、最新技術にも対応できる。
2. 機械工学関連分野について広い学識を有し、技術者として必要な倫理観をもって社会貢献できる。
3. 機械工学分野の専門的な業務従事者になるための研究遂行能力及びコミュニケーション・プレゼンテーション能力を向上させる。

機械工学専攻博士後期課程

機械工学専攻博士後期課程で行う教育は、次に示す事項を達成することを目標とする。

1. 機械工学分野に関連した幅広い高度な知識を有し、それを活用して専門性の高い諸問題を解決できる能力を身につけた上で、科学技術の急速な進歩にも柔軟に対応できる。
2. 機械工学関連分野について専門的な学識を有し、トップレベルの技術者としての高い倫理観を合わせもって社会に十分貢献できる。
3. 機械工学分野の高度な業務に従事するスペシャリストになるための自立した研究遂行能力及び国際的なコミュニケーション・プレゼンテーション能力を向上させる。

アドミッション ポリシー

- ◎機械工学をさらに深く学び、理解し、創造することへの強い関心と意欲があり、それらを遂行するために必要な基礎知識を持っていること。
- ◎研究者・技術者として必要な自立・自律する心を持ち、自分自身で問題点を発見して解決策を考え、実践しようとする姿勢を持っていること。
- ◎社会の一員としての責任を自覚して、積極的に学ぼうとする意欲を持っていること。

エネルギー・環境工学研究室



エネルギーを集めて・貯めて・運んで・活かす新しいシステムを提案

◎自然エネルギー利用 ◎太陽熱利用
◎木質バイオマス活用 など

主任
星 朗 教授 学位:博士(工学)

知能システム数理研究室



新しい統計的ふるまいに基づくシステムを表現する理論の研究

◎情報幾何学 ◎システム制御理論
◎微分幾何学 ◎複雑系
◎非平衡系統計力学 など

魚橋 慶子 教授 学位:博士(理学)

熱流動シミュレーション研究室



「流れ」と「人」とのインターフェースに着目して多彩なシミュレーションを実施

◎快適空調制御 ◎マイクロプロア
◎熱流動可視化 など

小野 憲文 教授 学位:博士(工学)

人間－機械システム学研究室

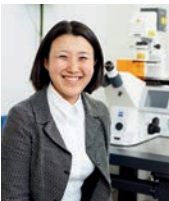


人々が親しみを感じられるヒューマンアシストロボットの開発を

◎ヒューマンケアロボット
◎ヒューマンインターフェース
◎人間動作解析 など

梶川 伸哉 教授 学位:博士(工学)

生体工学研究室



「工学」を「生体工学」の分野から考察しその成果を機械設計にフィードバック

◎画像処理 ◎生体 ◎細胞 ◎力学
◎運動 ◎4次元 など

加藤 陽子 教授 学位:博士(工学)

自動車工学研究室



自動車がいつまでも人の役に立つ道具であり続けるためにやるべきことを研究

◎エンジン ◎内燃機関 ◎燃焼
◎再生可能エネルギー ◎アンモニア
◎路面μ ◎近赤外カメラ など

城戸 章宏 教授 学位:博士(工学)

ロボット開発工学研究室



できるロボットはアイデア次第“つくること”を重視しロボットを開発

◎メカトロニクス ◎ロボット
◎組み込みソフトウェア ◎制御
◎計測信号処理 など

熊谷 正朗 教授 学位:博士(工学)

適応システム研究室

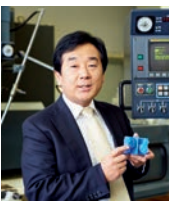


成長するロボットの実現を目指し様々な実験を試みています

◎人工知能 ◎適応システム
◎知能ロボット ◎機械学習 など

郷古 学 教授 学位:博士(工学)

精密加工研究室



最新技術を用いて目に見えない表面や内部の欠陥を検出する

◎超音波加工 ◎CAD/CAM ◎放電加工
◎研削加工 ◎NC加工 など

斎藤 修 教授 学位:博士(工学)

オプトメカトロニクス加工研究室



「光」のポテンシャルを最大限に活かすレーザ加工で新領域に挑む

◎超精密ダイヤモンドホイール
◎加工用高出力ファイバレーザ など

松浦 寛 教授 学位:博士(工学)

アクチュエータ工学研究室

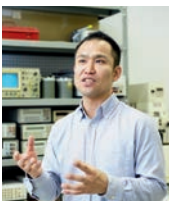


アクチュエータや電磁型モータなど次代を担うマイクロマシンを開発

◎マイクロアクチュエータ
◎マイクロ電磁型モータ ◎振動制御 など

矢口 博之 教授 学位:博士(工学)

知能材料工学研究室



磁性体や超伝導体を持つ知的な性能を引き出す物質を探究

◎知能材料 ◎磁性材料 ◎超伝導材料
◎高圧技術 など

岡田 宏成 准教授 学位:博士(工学)

バーチャルリアリティ研究室



VR空間での触覚提示技術を研究し幅広い分野で役立つシミュレータを開発

◎実時間物理シミュレーション
◎柔軟物体モデリング
◎触覚提示デバイス など

佐瀬 一弥 准教授 学位:博士(工学)

バイオメカニクス研究室



聴覚のメカニクスの解明と、医療・福祉・スポーツ分野への応用研究

◎微小振動 ◎音響 ◎衝撃
◎シミュレーション ◎診断装置
◎コンタクトスポーツ など

濱西 伸治 准教授 学位:博士(工学)

構造材料工学研究室



自動車用超高強度鋼板の耐水素脆化特性に関する研究

◎超高強度鋼板 ◎水素脆化
◎プレス成形 ◎熱間鍛造熱処理
◎応力測定 など

北條 智彦 准教授 学位:博士(工学)

材料信頼性工学研究室



金属微細材料の創製・特性評価・応用展開

◎イオンマイグレーションの挙動解明
◎圧電複合材料の特性向上
◎スマートテキスタイルの新規開発

李 淵 准教授 学位:博士(工学)

【研究分野】 ●電力・制御分野 ●情報・通信分野 ●電子・材料分野

理念・目的

電気工学専攻博士前期課程

電気工学専攻博士前期課程では、電気工学が人間社会の科学技術と生活環境の進化を支える基盤となっていることを深く理解し、急速に変化する社会の要求に応えるため、専門分野の研究を通じて高度な自律心と実践力を備え、建学の精神に基づく倫理観と社会的な素養を身につけた創造性豊かな人材を養成する。

電気工学専攻博士後期課程

電気工学専攻博士後期課程では、電気工学が人間社会の科学技術と生活環境の進化を支える基盤となっていることを深く理解し、急速に変化する社会の要求に応えるため、専門分野の研究を通じて高度な自律心と実践力を備え、建学の精神に基づく倫理観と社会的な素養を兼ね備え、社会の指導的地位で活躍できる創造性豊かな研究者・技術者を養成する。

教育目標

電気工学専攻博士前期課程

電気工学専攻博士前期課程で行う教育は、次に示す事項を達成することを目標とする。

- 担当教員の指導の下で研究・開発を進めることにより、主体的、かつ、積極的な姿勢で考え行動できる研究・開発能力や将来の技術に対する幅広い視点、基礎知識及び洞察力を身につける。
- 研究・開発を進める上で必要となる常識的な判断能力、情報収集能力及び表現能力を身につける。専門分野に係わる高度な専門知識を修得するとともに、これのみならず技術者としての裾野を広げるため、他分野の専門知識も積極的に修得する。更に専攻分野の諸問題について理論的、実証的に分析し、その結果を社会貢献に活かす。
- TA制度や研究室内の後輩の研究指導等によりリーダーシップ能力を育成するとともに、研究室活動、学会活動等により、社会人として必要な協調性を高める。専門知識を活用して課題解決策を提案し、その思考方法と研究成果を公表する。

電気工学専攻博士後期課程

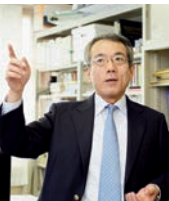
電気工学専攻博士後期課程で行う教育は、次に示す事項を達成することを目標とする。

- 担当教員の指導の下で研究・開発を進めることにより、主体的、かつ、積極的な姿勢で考え行動できる研究・開発能力や将来の技術に対する幅広い視点、基礎知識及び洞察力を身につける。
- 研究・開発を進める上で必要となる常識的な判断能力、情報収集能力及び表現能力を身につける。専門分野に係わる高度な専門知識を修得するとともに、これのみならず技術者としての裾野を広げるため、他分野の専門知識も積極的に修得する。更に専攻分野の諸問題について理論的、実証的に分析し、その結果を社会貢献に活かす。
- TA制度や研究室内の後輩の研究指導等によりリーダーシップ能力を育成するとともに、研究室活動、学会活動等により、社会人として必要な協調性を高める。専門知識を活用して課題解決策を提案し、その思考方法と研究成果を公表し、リーダーシップを発揮できる。

アドミッション
ポリシー

- ◎電気工学を学ぶために必要な基礎学力を有し、より高度な専門知識の習得に積極的な人。
- ◎主体的、かつ、積極的な姿勢で研究活動に取り組むことができる人。
- ◎研究メンバーの一員として行動できる協調性を有し、メンバーとの纏まりの基に研究生活を送ることができる人。
- ◎電気工学の将来的な進展に強く係わりたいという夢と情熱のある人。
- ◎電気工学の専門知識と洞察力を身につけ、国際的視野のもとに社会の発展に貢献したいと考えている人。

ワイヤレス情報通信研究室



快適でつながりやすい無線通信方式やネットワークの研究を推進

- ◎無線通信方式 ◎無線通信ネットワーク
- ◎携帯電話システム
- ◎セルラーシステム など

主任
鈴木 利則 教授 学位:博士(工学)

情報コミュニケーション研究室



円滑なコミュニケーションを支援する音響情報処理システムの創成

- ◎臨場感通信 ◎立体音響
- ◎多感覚情報処理過程
- ◎情報ネットワーク管理 など

岩谷 幸雄 教授 学位:博士(情報科学)

伝送回路学研究室



マルチバンド
高周波伝送回路の研究

- ◎マルチバンド変成器
- ◎マルチバンド電力分配器 など

大場 佳文 教授 学位:博士(工学)

電気システム制御研究室



実用に強い制御理論とその方法の開発に力を入れ研究を行っています

- ◎デジタル制御 ◎ロバスト制御
- ◎モータの駆動法
- ◎パワーエレクトロニクス など

郭 海蛟 教授 学位:博士(工学)

応用数理研究室



情報セキュリティ技術をテーマに
数学の視点から基盤技術を構築

- ◎シュレーディンガー作用素 ◎準結晶
- ◎電気伝導度 ◎耐タンパー技術 など

神永 正博 教授 学位:博士(理学)

メディアアナリシス研究室



コンピュータがデジタル画像を
分析できる方法について研究

- ◎デジタル基本図形のパターン認識
- ◎デジタル画像の領域分割 など

金 義鎮 教授 学位:博士(工学)

先端電力工学研究室



自然資源の有効活用と新技術による
電力供給システムの安定化に取り組む

- ◎電力系統 ◎マイクログリッド
- ◎クリーンエネルギー ◎電力自由化 など

呉 国紅 教授 学位:博士(工学)

生体電磁工学研究室



高密度ワイヤレスエネルギー伝送技術を中心
に新たな医療・産業分野を創造

- ◎ワイヤレスエネルギー ◎低侵襲治療
- ◎ニューロモジュレーション など

佐藤 文博 教授 学位:博士(工学)

応用電磁エネルギー工学研究室



磁性材料の特徴を利用した環境発電
デバイス、電磁界可視化法などの研究

- ◎環境発電 ◎近傍電磁界
- ◎磁気イメージング
- ◎ワイヤレスセンシング など

栢 修一郎 教授 学位:博士(工学)

情報・符号理論研究室



「符号理論」の一つである
誤り訂正符号の構成法について探究

- ◎誤り訂正符号 ◎符号化変調方式
- ◎通信品質の改善 ◎信頼性の向上 など

吉川 英機 教授 学位:博士(工学)

図形情報処理研究室



デジタル幾何形状処理を利用した
形状操作と特徴量分析手法の研究

- ◎3次元形状処理
- ◎コンピュータグラフィックス
- ◎CAD ◎情報考古学 など

木下 勉 准教授 学位:博士(工学)

情報インタラクション研究室



人間の認知特性を利用して
誰でも使いやすいコンピュータを開発

- ◎ヒューマンインタフェース
- ◎マルチメディア ◎空間知覚
- ◎アレイ信号処理 など

木村 敏幸 准教授 学位:博士(学術)



【研究分野】 ●物性・材料・デバイス工学 ●情報通信工学 ●電子計測工学 ●情報処理工学 ●理論・数学

理念・目的

電子工学専攻博士前期課程

電子工学専攻博士前期課程では、急速な技術革新を遂げる電子工学分野の基礎的な実験手法と専門知識を修得し、社会人としての素養と倫理観を兼ね備え、社会貢献できるエンジニアを養成する。

電子工学専攻博士後期課程

電子工学専攻博士後期課程では、電子工学分野におけるより幅広くかつ高度な実験手法と専門知識を修得するとともに、世界に貢献できる国際的にトップレベルのエンジニアを養成する。

教育目標

電子工学専攻博士前期課程

電子工学専攻博士前期課程における教育は、次に掲げる事項を達成することを目標とする。

1. 工学技術者として必要な倫理観とそれを実社会で活用するための広範な知識及びマテリアル・デバイス工学及び電子計測学分野に関する電子工学の先端知識を修得させる。
2. 少人数教育による「工学特別演習」と「工学修士研修」の実践を通じた研究遂行能力の鍛錬を通して、研究遂行能力を向上させる。
3. 十分な英語コミュニケーション能力と自らの専門分野の文献調査及び発表能力を身につける。

電子工学専攻博士後期課程

電子工学専攻博士後期課程における教育は、次に掲げる事項を達成することを目標とする。

1. 工学技術者として必要な倫理観とそれを実社会で活用するための広範な知識及びマテリアル・デバイス工学及び電子計測学分野に関する電子工学の先端知識及び国際的に通用する見識を身につける。
2. 少人数教育による「工学博士研修」の実践を通じた研究遂行能力の鍛錬を通して、国際的に第一線で活躍できる研究遂行能力を身につける。
3. 国際会議で齟齬なく意思疎通できる英語コミュニケーション能力と自らの専門分野の文献調査及び発表能力を高める。

アドミッション ポリシー

- ◎電子工学の基礎的な知識を有し、さらに高度な研究をしようとする強い意欲を持っている人。
- ◎チームの一員として共同研究作業ができる協調性を持ち、同時に個人として自主的・自立的に研究活動を遂行していくことができる人。
- ◎科学的な思考を有し、客観的で謙虚な態度を持って、専門的な知識を人類の幸福に活用できる国際的な視野をもっている人。

情報通信システム研究室

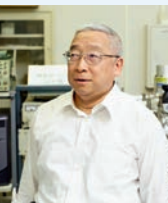


持続可能で「スマート」な情報通信に必要な基盤技術を研究

- ◎電磁両立性 ◎デジタル情報通信
- ◎通信品質 ◎スマートコミュニティ
- ◎国際電気標準会議 など

主任
石上 忍 教授 学位:博士(工学)

光物性研究室



様々な波長の光を使って固体の中の原子や電子の状態を調べる「分光学」

- ◎分光 ◎遠赤外 ◎ミリ波
- ◎テラヘルツ ◎超イオン導電体
- ◎LB膜 など

淡野 照義 教授 学位:博士(理学)

電気機械計測研究室



磁気センサを中心としたセンサ技術を応用し優れた計測制御システムを開発

- ◎計測システム ◎磁界センサ
- ◎物理現象の可視化 ◎非破壊検査 など

小澤 哲也 教授 学位:博士(工学)

生体機能情報工学研究室



生体情報を電子工学的に計測・解析し生体機能の解明や医工学への応用へ

- ◎生体信号計測 ◎生体信号解析
- ◎生体機能 ◎医工学応用 など

加藤 和夫 教授 学位:博士(工学)

情報伝送工学研究室

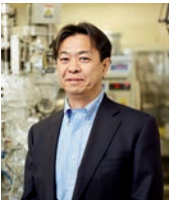


電磁環境学の研究を通じ電子システムの高度化・高性能化を支える

- ◎電子システム ◎電波
- ◎電磁波応用 ◎電磁干渉
- ◎電磁障害 ◎電磁ノイズ など

川又 憲 教授 学位:博士(工学)

磁性材料研究室



最先端のナノテクノロジーを駆使した研究開発を推進

- ◎超強力磁石 ◎薄膜
- ◎ナノテック ◎ハイブリッドカー
- ◎次世代磁気記録 など

研究科長
嶋 敏之 教授 学位:博士(工学)

半導体材料デバイス工学研究室



世界でオンリーワンの技術を駆使して新構造デバイスについて総合的に研究

- ◎半導体 ◎デバイス ◎トランジスタ
- ◎薄膜 ◎薄膜トランジスタ
- ◎ナノ など

原 明人 教授 学位:博士(理学)

機能材料研究室

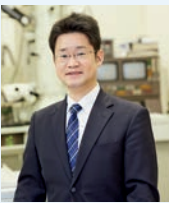


環境に優しく人間に役立つ機能を持つ材料や物質、エネルギー資源について研究

- ◎触媒材料 ◎多孔質材料
- ◎グリーンエネルギー ◎次世代二次電池
- ◎サステイナブルマテリアル など

桑野 聡子 准教授 学位:博士(理学)

ナノ物性材料研究室



実際にナノ粒子を作製し、ナノ領域に現れる特異な現象について研究

- ◎ナノ材料 ◎ナノ物性
- ◎電子顕微鏡 ◎薄膜 など

鈴木 仁志 准教授 学位:博士(理学)

計測情報工学研究室



マイコンセキュリティの評価から学習支援システムまで情報の視覚化に挑む

- ◎情報セキュリティ ◎差分故障解析
- ◎命令バイパス ◎暗号解析
- ◎教育工学 など

志子田 有光 教授 学位:博士(工学)

スピニエレクトロニクス研究室



スピン(磁石)の性質を利用した近距離無線通信システムの開発へ

- ◎スピン(磁石) ◎近距離無線通信システム
- ◎電子ビーム蒸着 など

土井 正晶 教授 学位:博士(工学)

群集流動情報工学研究室



群集流動のモデル化と人流シミュレーションの研究

- ◎群集流動 ◎滞留現象
- ◎群集歩行モデル
- ◎人流シミュレーション など

門倉 博之 准教授 学位:博士(工学)

数理科学研究室

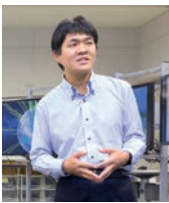


コンピュータによる数値解析を通じた整数論的諸問題の研究

- ◎ゼータ関数 ◎ベルヌーイ数
- ◎多重ゼータ関数 など

佐々木 義卓 准教授 学位:博士(数理学)

空間情報学研究室



空間情報を用いた、社会に役立つシステムの開発

- ◎空間情報 ◎可視化 ◎GIS
- ◎VR ◎AR ◎プログラミング など

物部 寛太郎 准教授 学位:博士(情報学)

環境建設工学専攻

Civil and Environmental Engineering



【研究分野】 ● 構造力学・構造工学 ● コンクリート工学（建設材料学） ● 地盤・防災工学 ● 環境・水理学 ● 建築計画学 ● 環境設備・建築環境工学

理念・目的

環境建設工学専攻博士前期課程

環境建設工学専攻博士前期課程では、地球及び地域環境を保全しつつ人々の生活を豊かにする社会基盤を創造し、これまでに蓄積してきた社会資本を維持・管理する営みを発展させるため、専門分野に関する学習・研究を通じて、高い自律心と実践能力、社会人としての素養と倫理観を兼ね備えた、創造性豊かな技術者を養成する。

環境建設工学専攻博士後期課程

環境建設工学専攻博士後期課程では、地球及び地域環境を保全しつつ人々の生活を豊かにする社会基盤を創造し、これまでに蓄積してきた社会資本を維持・管理する営みを発展させるため、専門分野に関する学習・研究を通じて、高い自律心と実践能力、社会人としての素養と倫理観を兼ね備え、社会の指導的地位で活躍できる創造性豊かな研究者・技術者を養成する。

教育目標

環境建設工学専攻博士前期課程

環境建設工学専攻博士前期課程における教育は、広い視野に立って学識を深め、志望する専門分野に関する高度専門技術を修得するとともに、次に掲げる事項を達成することを目標とする。

1. 環境工学及び建設工学に関連する広範な専門基礎知識と技術を着実に修得し、さらに、専門分野の先端的な知識を学び、理解する。
2. ある問題に対する研究を通して自らの力で情報を収集し、評価・分析し、対応策を模索して実践し、得られた結果を総括し、当該問題に対してよりよい改善策を提案して社会貢献に生かす。
3. 研究成果を公に発表することにより、技術者としてのコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、プロジェクト管理能力などを修得する。

環境建設工学専攻博士後期課程

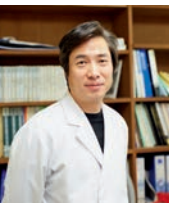
環境建設工学専攻博士後期課程における教育は、専攻分野の研究者・教育者として必要な研究能力、高度専門知識及び社会人として必要とされる工学他分野の知識を修得するとともに、次に掲げる事項を達成することを目標とする。

1. 環境工学及び建設工学に関連する広範な専門基礎知識と技術を着実に修得し、さらに、専門分野の先端的な知識を学び、身につけ、国際社会においても議論できる。
2. ある問題に対する研究を通して自らの力で情報を収集し、評価・分析し、対応策を模索して実践し、得られた結果を総括し、当該問題に対してよりよい方法等を提案し、よりよい改善策を提案し、安全・安心な社会や持続可能な社会環境の構築に貢献できる。
3. 研究成果を公に発表することにより、技術者としてのコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、プロジェクト管理能力などを修得し、リーダーシップを発揮できる。

アドミッション ポリシー

- ◎基礎的な学力とコミュニケーション能力をもつ人。
- ◎自主性を有し、環境建設分野の知識の修得に強い関心と意欲をもつ人。
- ◎社会基盤整備、持続ある環境の保全を通して、地域社会と国際社会に貢献する熱意をもつ人。

環境化学研究室



もっときれいな水環境へ 効率的な分解除去技術について研究

- ◎促進酸化水処理 ◎土壌汚染処理
- ◎バイオ発電 など

主任
韓 連熙 教授 学位:博士(薬学)

構造動力学・維持管理学研究室



構造動力学という共通の手法を基本に、 構造物に関わる問題の解決に取り組む

- ◎長大高架橋の地震応答解析
- ◎コンクリート欠陥の可視化 など

李 相勲 教授 学位:博士(工学)

建築構造研究室



地震などの外力に対する 構造物の解析

- ◎地震 ◎衝撃荷重
- ◎構造解析 など

井川 望 教授 学位:博士(工学)

コンクリート構造研究室



コンクリート材料の温度ひび割れや 凍結劣化現象などの研究を展開

- ◎鉄筋コンクリート構造物の数値解析
- ◎マスコンクリートの温度ひび割れ解析 など

石川 雅美 教授 学位:博士(工学)

建築デザイン研究室



安全性・快適性・芸術性を兼ね備えた 建築を追求し、デザインを実践

- ◎建築デザイン ◎設計実務
- ◎まちづくり ◎素材 ◎形態論 など

櫻井 一弥 教授 学位:博士(工学)

建築設備研究室



地球環境に配慮した、快適な室内空間 実現のための研究に取り組む

- ◎建築環境
- ◎建築設備 など

鈴木 道哉 教授 学位:博士(工学)

コンクリート劣化診断研究室



コンクリートに発生したひび割れから コンクリートの性状を評価する

- ◎マイクロクラックの検出と定量化
- ◎劣化深さの測定 ◎圧縮強度の推定 など

武田 三弘 教授 学位:博士(工学)

耐震・防災工学研究室



防災・耐震設計は新たな時代へ コンピュータ解析をフルに活用した最新研究に挑む

- ◎危機耐性を考慮したトラス、アーチ橋の設計
- ◎ゴム支承の数値モデル化手法の確立
- ◎軟弱地盤対策、地すべり対策 など

千田 知弘 教授 学位:博士(工学)

建築計画研究室



建築・都市について空間の構成と 意識の構造からその魅力を探求

- ◎建築計画 ◎計画基礎
- ◎環境心理・認知・行動 ◎空間の評価
- ◎景観 など

恒松 良純 教授 学位:博士(工学)

応用力学研究室



数値計算の技術を活用した 研究対象が幅広い「応用力学」

- ◎自然災害からの早期復旧のための緊急架設橋の開発
- ◎緊急架設橋を構成するパネルユニットの最適形状
- ◎シザーズ型展開橋の応力解析と静力学特性

中沢 正利 教授 学位:工学博士

環境保全工学研究室



微生物が持つ大きな力に着目し 自然環境の修復を目指す

- ◎環境浄化 ◎微生物
- ◎遺伝子解析 など

中村 寛治 教授 学位:工学博士

環境微生物工学研究室



難分解性化合物である環境汚染物質を 分解する微生物の仕組みを解き明かす

- ◎微生物の機能発現機構の解析
- ◎微生物・植物を用いた環境浄化 など

宮内 啓介 教授 学位:博士(農学)

地盤工学研究室



地震によって引き起こされる 液状化現象や地盤改良工法の研究

- ◎地震時の地盤挙動 ◎砂地盤の液状化
- ◎地盤改良 など

山口 晶 教授 学位:博士(工学)

建築史研究室



歴史を感じる都市空間の形成を目指し、 現代の都市や建築の成り立ちを研究

- ◎近代建築 ◎近代都市 ◎空間文化
- ◎歴史的建築 ◎保存・活用 など

崎山 俊雄 准教授 学位:博士(工学)

水工学研究室



最先端技術を結集して、 より健やかな未来の創造に取り組む

- ◎水理実験 ◎画像計測
- ◎3次元写真測量 ◎UAV
- ◎数値シミュレーション など

三戸部 佑太 准教授 学位:博士(工学)

